

小松市立丸内中学校 校歌

作詞 森山 啓
作曲 藤山 一郎

か　け　は　し　の　か　わ　の　つ　つ　みー

の　あ　さ　み　一　ど　り　そ　よ　ふ　く　か　せ

は　一　は　る　を　つ　け　わ　が　こ　う　て　い　に

は　な　に　お　う　わ　か　き　き　ぼ　う　は　あ　ふ　れ　わ　き　お　と　め　は

き　よ　く　う　る　わ　し　く　一　ま　る　ち　ゅ　う　け　ん　じ

は　一　い　き　た　一　か　し　2. な

四
少若い白野に街に
女きやききたらしに
丸は理美山脈に
中清想し健児は
健くをきう燃高嶺の
児は意氣わ立こそ
高くしたそしき
雪はつもりゆき

三
わ今学森古秋
れもびに城の日は
あら伸の傾のあ
あすび日くとも
べゆ々を夕日なつ
若てくをよ思うとき
きの日は尊にわくは

二
安若夾真竹白桃く映空は
宅き力ははの海の
日の花ひらぐりて
が照る青波にみ花ひらぐりて
るごときあかるさよ

一
少若わ校庭に
女きがよ吹風は
丸は清く春を告げ
中健児は意氣高
かけはしの浅みどり
は堤の風は春を告げ
は校庭に花匂うわ
は清くうるわしき
は意氣高しくさよ

丸内中学校校歌

作詞 森山 啓
作曲 藤山 一郎